作成年月日：令和　6　　年　4　　月　1　　日

総合工科高等学校 令和６年度 1学年 年間授業計画

教科　芸術	科目　音楽Ⅰ	単位数　２単位	対象学年組　第1学年　１組～５組

組教科担当	1組　竹石	2組　竹石	3組　竹石	4組　竹石	5組　竹石

使用教科書	MOUSA1
教科の目標	音楽における価値形成の為、音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情と豊かな感性を育てるとともに、個性的な表現の能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める。
【知識及び技能】	基礎となる楽典や西洋音楽史の理解を深めた上で、どのように課題の取り組みをするか。また、作曲者がどのような経緯で作ったのか、曲の特徴や構造を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	作詞作曲者が曲に対してどのような意味を込めて作ったか、また実演する際にそれらを表現できているか。演奏するにあたってバランスの判断がとれるか。
【学びに向かう力、人間性等】	歌唱やペア・グループアンサンブルで協力して活動し、表現できているか。授業で身につけた知識と自分の創造力を合わせて、新しく生み出す力を育てる。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
楽譜への知識を得るため、基礎となる楽典を学び、個人で楽譜を作成できるよう知識をつける。	たくさんのジャンルの曲に触れ、理解した上でどのように表現できるか。	ペアやグループアンサンブルで学ぶことにより、協力をし、表現できる力を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	A 楽典 【知】音部記号によって楽譜が変わる仕組みを理解し、課題に取り組む。	・指導事項 音名と音部記号 ドイツ音名と日本音名 ♯と♭がついた場合の変更点 ・教材 教科書・課題（自作）			○		・授業で指導した内容をどれだけ理解したか課題に取り組んでもらい、提出する。	○			8
	B 歌唱 【知】一般的な校歌と違う点を理解し習得する 【思】『校歌』『花』の作られた経緯や歌詞について解説する。 【学】ペアで練習し確認することにより、精度を高める。	・指導事項 発声練習 『校歌』『花』の歌唱 ２声部に分かれての練習 指揮法を学び実践する ・教材 教科書・生徒手帳	○			○	・授業で得た知識をもとにどれぐらい表現できているか。	○	○	○	2
	中間考査										
	C 歌唱 【知】日本歌曲ならではの濁音・鼻濁音の歌い方を学ぶ。 【思】日本語の歌詞と旋律と関わりについて。 【学】グループで役割を変えながら練習し、精度を高める。	・指導事項 『夏の思い出』『翼をください』『Lemon』の歌唱　２声部、指揮法をグループで役割を変えながら練習。 ・教材 教科書	○			○	・授業で得た知識をもとにどれぐらい表現できているか。グループで役割を変え発表をし成果を見る。	○	○	○	6
	D 西洋音楽史 【知】音楽の成り立ちやクラシック音楽で最古の『グレゴリオ聖歌』の特徴を学ぶ。 【思】オペラが誕生した際、クラシック音楽が繁栄した国と衰退した国の違いなど学ぶ。	・指導事項 古代ギリシャ・中世・バロック時代について ・教材 教科書			○	○	・授業で得た知識をもとにどれぐらい理解できているか。課題で把握する。	○	○		6

	期末考査										
2学期	E 歌唱 【知】イタリア語歌詞の読み方、日本語訳、巻き舌を交えての歌い方について学ぶ。 【思】相手に思いを寄せる心情を理解した上で、どれだけ表現できるか。 【学】ペア同士で練習し、互いに改善点を見つけながら改善する。	・指導事項 『Caro mio ben』 イタリア古典歌曲を学ぶ。 作曲者が不明確な点、用語を理解した上で表現できるか。 ・教材 教科書	○			○	・授業で得た知識をもとにどれぐらい表現できているか。ペアで役割を変え発表をし成果を見る。	○	○	○	6
	F 西洋音楽史 【知】 古典派の主要な作曲者を元に時代背景を学ぶ。 【思】 チェンバロからピアノに楽器が進化したことにより、表現の幅が変わった事を実感してもらう。	・指導事項 この時代に発展した『交響曲』についての説明、実際に曲を聴いて体感してもらう。 ・教材 教科書			○	○	・授業で得た知識をもとにどれぐらい理解できているか。課題で把握する。	○	○		6
	中間考査										
	G 器楽 【知】 リズム感・強弱を理解し、楽譜通りに進行できるか。 【思】 曲に合わせてタイミングを合わせ楽譜にある強弱が表現できるか。 【学】 グループで協力し曲を作り上げる	・指導事項 『パプリカ』に合わせて楽譜に書いてあるリズムを理解し、表現をする。 ・教材 自作プリント・紙コップ		○	○		・グループアンサブルで協力をし、曲を作り上げ発表をし成果を見る。	○	○	○	7
	H 西洋音楽史 【知】 ロマン派の主要な作曲者を元に時代背景を学ぶ。 【思】 幻想的なものを求めるロマン主義の風潮を理解し、作曲者によってどれだけの表現の違いを実感してもらう。	・指導事項 ヨーロッパだけではなくロシアの音楽にも触れ、標題音楽・ヴィルトーゾ・国民楽派について学ぶ。 ・教材 教科書			○	○	・授業で得た知識をもとにどれぐらい理解できているか。課題で把握する。	○	○		7
	期末考査										

3学期	L 器楽・創作 【知】 リズム感・強弱を理解し、楽譜通りに進行できるか。 【思】 曲に合わせてタイミングを合わせ楽譜にある強弱できるか。 【学】 グループで協力し、曲に合わせたリズム楽譜を考え曲を作り上げる。	・指導事項 曲に合わせて、リズム楽譜を考え、発表の際そのリズムが表現できるか。 ・教材 自作プリント。紙コップ			○	○	・グループアンサブルで協力をし、曲を作り上げ発表をし成果を見る。	○	○	○	7
	M 和楽器・オペラ鑑賞 【知】 楽器の特性や違いについて学ぶ。オペラのストーリーを学ぶ。 【思】 実際のオペラを鑑賞して、登場人物の心情を学ぶ。 【学】 グループでオペラの内容を話し合い、発表をしてもらう。	・指導事項 和楽器の特性を教科書のカラー図だけではなく、DVDを鑑賞し理解してもらう。 ・教材 教科書・DVD		○	○	○	・授業で得た知識をもとにどれぐらい理解できているか。課題で把握する。	○	○	○	7
	学年末考査										

作成年月日：令和　6　　年　4　　月　1　　日

総合工科高等学校 令和６年度 １学年 年間授業計画

教科	美術１	単位数　２単位	対象学年組　第１学年　1　組 ～　5　組		
組教科担当	１組　青木聖吾	２組　青木聖吾	３組　青木聖吾	４組　青木聖吾	５組　青木聖吾
使用教科書	日本文教出版、高校生の美術１				
教科の目標	基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これからを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、美術を主体的に生活や学習に生かそうとする力を育む。				
【 知識及び技能 】	授業作品から評価、課題の意図を理解している				
【思考力、判断力、表現力等】	授業作品から評価、自分なりに表現している				
【学びに向かう力、人間性等】	授業態度、作品の自己評価、作品から評価、プリント提出				

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
感性や想像力を働かせ、自分の見方や考え方、感じ方で他の作品や、大きな意味での美術と社会の関係、そこに機能する美術の役割や、関係から生み出される様々なメディアを通した技能的な視点からも考察しながら取り組もうとしている。	美術とは何かを考え興味を持ち､感性や美的感覚を働かせて､創造する事の楽しさや深さを味わい作品と自身との関わりについて深く考え､各課題によって柔軟に対応しながら問題意識をもち、作品を生み出そうとしている。	美術授業の理解と創造する事の楽しさや美術のよさに気付いて粘り強く考え制作して､美術を通して芸術文化に親しむ事が出来るよう主体的､協働的に表現及び鑑賞の学習活動に多面的に美術を捉え考え、取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時間
			絵彫	デ	映						
1学期	［知］基本的な木炭の使い方、カッターで削る､描くなど道具の特性を理解し、技能を身に付けている。 ［思］描画用鉛筆で様々な明度を使って画材の特徴を認識しながら工夫して描こうとしている。 ［態］基本的な道具を使う行為から表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。	・木炭デッサン ・石膏 ・デッサン用具一式	絵画			教科書	[木炭の使い方] 木炭の削り方から使い方まで基本的な手を動かす事で得られる物と触れ合うことの大切さを理解する。グラデーション 基本的な木炭の使い方を学ぶ。	○	○	○	6
	［知］基本的な画材の使い方を理解し道具の特性を味わい技能を身に付けている。［思］描画で様々な色材を使って画材の特徴を認識しながら工夫して描こうとしている。［態］基本的な道具を使う行為から表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。	・様々な画材を使い経験して絵画を描く上での表現の可能性を探る。 ・色材一式	絵画			教員参考資料	[様々な画材に触れる] 様々な画材に触れ基本的な手を動かす事で得られる物と触れ合うことの大切さを理解し表現力を高める。	○	○	○	2
	［知］基本的な画材の使い方を理解し道具の特性を味わい技能を身に付けている。 ［思］描画で様々な色材を使って画材の特徴を認識しながら工夫して描こうとしている。 ［態］基本的な道具を使う行為から表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。	・校内風景を描く ・色材一式	絵画			教科書	[日常の様々な風景に目を向ける] 様々な画材に触れ基本的な手を動かす事で得られる物と触れ合うことの大切さ視点を持つことを理解し表現力を高める。	○	○	○	6
2学期	［知］様々な工芸素材を使ってイメージを元に表現する。 ［思］イメージをもとに創意工夫しながら取り組んでいる。 ［態］基本的な道具を使う行為から表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。	・銅板レリーフ ・銅板、ニードル等		デザイン工芸		教員参考資料	[様々な画材に触れる] 様々な画材に触れ基本的な手を動かす事で得られる物と触れ合うことの大切さを理解し表現力を高める。	○	○	○	8
	［知］様々な工芸素材を使ってイメージを元に表現する。 ［思］イメージをもとに創意工夫しながら取り組んでいる。 ［態］基本的な道具を使う行為から表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。	・陶芸 ・陶芸用具一式		デザイン工芸		教科書	[様々な画材に触れる] 様々な画材に触れ基本的な手を動かす事で得られる物と触れ合うことの大切さを理解し表現力を高める。自分にとって使用したい？ものを表現する。	○	○	○	4

	［知］様々な工芸素材を使ってイメージを元に表現する。 ［思］イメージをもとに創意工夫しながら取り組んでいる。 ［態］基本的な道具を使う行為から表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。	・パスタタワー ・パスタ、グルーガン		デザイン工芸		教科書	[様々な素材からの構造と美意識] 様々な画材に触れ基本的な手を動かす事で得られる物と触れ合うことの大切さを理解し表現力を高める。また日常的な画材以外の素材から表現を考える。	○	○	○	4
3学期	［知］基本的な画材の使い方を理解し道具の特性を味わい技能を身に付けている。 ［思］描画で様々な色材を使って画材の特徴を認識しながら工夫して描こうとしている。 ［態］基本的な道具を使う行為から表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。	・ミクスドメディア表現 音楽から表現を考える ・画材用具一式	絵画			教科書	[音楽からの表現演習] 様々な画材に触れ基本的な手を動かす事で得られる物と触れ合うことの大切さを音楽を聴きながら感じ表現力を高める。	○	○	○	4
	［知］様々な工芸素材を使ってイメージを元に表現する。 ［思］イメージをもとに創意工夫しながら取り組んでいる。 ［態］基本的な道具を使う行為から表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。	・携帯スタンド ・携帯スタンドキット		デザイン工芸		教科書	[日常使用する道具を考える] 身近な道具から自分だけの道具を自由に考える。様々な画材に触れ基本的な手を動かす事で得られる物と触れ合うことの大切さを理解し表現力を高める。	○	○	○	4

作成年月日：令和　6　　年　4　　月　1　　日

総合工科高等学校 令和６年度 １学年 年間授業計画

教科　芸術	科目　書道Ⅰ	単位数　２単位	対象学年組　第１学年　１ 組 ～　５ 組		
組教科担当	１組　神田　雅史	２組　同左	３組　同左	４組　同左	５組　同左
使用教科書	『書Ⅰ』 光村図書				
教科の目標	習字技能の向上，自己表現の確立，意思伝達及び鑑賞能力の育成，日常生活での芸術的感性や能力の活用				
【 知識及び技能 】	芸術作品への理解を深め，作者や時代背景などの知識を学ぶ。自身の技術として習得できる				
【思考力、判断力、表現力等】	作品の特徴をとらえ、技法や表現を論理的に理解，実行することができる				
【学びに向かう力、人間性等】	創造的かつ芸術的な活動に積極的に取り組み，心身共に豊かにする態度を育む				

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・基本点画及び運筆法の学習と習得 ・書道史の学習、及び時代背景の理解 ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆を行う ・漢字能力の向上	・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できる ・創作活動において自己表現を反映できる ・随時適切な運筆を行うことができる ・作品の改善点を常に考えることができる	・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとする ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う ・作品の権利について理解し、尊重できる

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配当時間
			漢仮	漢	仮						
1学期	A 単元 『楷書の学習』 【知識及び技能】 ・基本点画及び運筆法の学習と習得 ・書道史の学習と時代背景の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できる ・作品の改善点を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとする ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う	・指導事項 「楷書の学習」 ・教材 「書Ⅰ」光村図書 ・一人１台端末の活用など インターネットを活用した情報検索	○	○	×	○	・基本点画と運筆法を学習し、習得することができたか ・書道史を学び、時代背景の理解をすることができたか ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆をすることができたか ・漢字能力の向上がみられたか ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できたか ・作品の改善点を常に考えることができたか ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとしていたか ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱うことができたか ・入念に清掃活動を行うことができたか ・作品の権利について理解し、尊重することができたか	○	○	○	4
	B 単元 『行書の学習』 【知識及び技能】 ・基本点画及び運筆法の学習と習得 ・書道史の学習と時代背景の理解 ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆を行う 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できる ・作品の改善点を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとする ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う	・指導事項 「行書の学習」 ・教材 「書Ⅰ」光村図書 ・一人１台端末の活用など インターネットを活用した情報検索	○	○	×	○	・基本点画と運筆法を学習し、習得することができたか ・書道史を学び、時代背景の理解をすることができたか ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆をすることができたか ・漢字能力の向上がみられたか ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できたか ・作品の改善点を常に考えることができたか ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとしていたか ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱うことができたか ・入念に清掃活動を行うことができたか ・作品の権利について理解し、尊重することができたか	○	○	○	1
	中間考査										

	C 単元 『行書の学習 2』蘭亭序の全臨 【知識及び技能】 ・書道史の学習と時代背景の理解 ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆を行う ・漢字能力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な運筆を行うことができる ・作品の改善点を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとする ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う	・指導事項 「行書の学習 2」 ・教材 「書 I」光村図書 ・一人 1 台端末の活用など インターネットを活用した情報検索	○	○	×	○	・基本点画と運筆法を学習し、習得することができたか ・書道史を学び、時代背景の理解をすることができたか ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆をすることができたか ・漢字能力の向上がみられたか ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できたか ・作品の改善点を常に考えることができたか ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとしていたか ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱うことができたか ・入念に清掃活動を行うことができたか ・作品の権利について理解し、尊重することができたか	○	○	○	4
	D 単元 『細字の学習』 【知識及び技能】 ・基本点画及び運筆法の学習と習得 ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆を行う ・漢字能力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な運筆を行うことができる ・作品の改善点を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとする ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う	・指導事項 「細字の学習」 ・教材 「書 I」光村図書 ・一人 1 台端末の活用など インターネットを活用した情報検索	○	○	×	○	・基本点画と運筆法を学習し、習得することができたか ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆をすることができたか ・漢字能力の向上がみられたか ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できたか ・作品の改善点を常に考えることができたか ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとしていたか ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱うことができたか ・入念に清掃活動を行うことができたか ・作品の権利について理解し、尊重することができたか	○	○	○	3
	期末考査										
2学期	E 単元 『篆刻の学習』 【知識及び技能】 ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆を行う ・漢字能力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 ・創作活動において自己表現を反映できる ・適切な運筆を行うことができる ・作品の改善点を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う ・作品の権利について理解し、尊重できる	・指導事項 「篆刻の学習」 ・教材 「書 I」光村図書 ・一人 1 台端末の活用など インターネットを活用した情報検索	○	○	○	○	・書体ごとの違いを理解し、適切な印稿を作成することができたか ・漢字能力の向上がみられたか ・書体の特徴を理解し、自己作品に反映できたか ・作品の改善点を常に考えることができたか ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとしていたか ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱うことができたか ・入念に清掃活動を行うことができたか ・作品の権利について理解し、尊重することができたか	○	○	○	4

F 単元 『篆・隷・草書体の学習』 【知識及び技能】 ・基本点画及び運筆法の学習と習得 ・書道史の学習と時代背景の理解 ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆を行う ・漢字能力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できる ・適切な運筆を行うことができる ・作品の改善点を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとする ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う	・指導事項 「篆・隷・草書体の学習」 ・教材 「書Ⅰ」光村図書 ・一人１台端末の活用など インターネットを活用した情報検索	○	○	○	○	・基本点画と運筆法を学習し、習得することができたか ・書道史を学び、時代背景の理解をすることができたか ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆をすることができたか ・漢字能力の向上がみられたか ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できたか ・作品の改善点を常に考えることができたか ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとしていたか ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱うことができたか ・入念に清掃活動を行うことができたか ・作品の権利について理解し、尊重することができたか	○	○	○	4
中間考査										
G 単元 『かなの学習１』 【知識及び技能】 ・基本点画及び運筆法の学習と習得 ・書道史の学習と時代背景の理解 ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆を行う ・漢字能力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できる ・適切な運筆を行うことができる ・作品の改善点を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとする ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う ・作品の権利について理解し、尊重できる	・指導事項 「かなの学習１」 ・教材 「書Ⅰ」光村図書 ・一人１台端末の活用など インターネットを活用した情報検索	○	○	○	○	・基本点画と運筆法を学習し、習得することができたか ・書道史を学び、時代背景の理解をすることができたか ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆をすることができたか ・識字能力の向上がみられたか ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できたか ・作品の改善点を常に考えることができたか ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとしていたか ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱うことができたか ・入念に清掃活動を行うことができたか ・作品の権利について理解し、尊重することができたか	○	○	○	4
H 単元 『かなの学習２』 【知識及び技能】 ・基本点画及び運筆法の学習と習得 ・書道史の学習と時代背景の理解 ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆を行う ・漢字能力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できる ・創作活動において自己表現を反映できる ・適切な運筆を行うことができる ・作品の改善点を考えることができる	・指導事項 「かなの学習２」 ・教材 「書Ⅰ」光村図書 ・一人１台端末の活用など インターネットを活用した情報検索	○	○	○	○	・基本点画と運筆法を学習し、習得することができたか ・書道史を学び、時代背景の理解をすることができたか ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆をすることができたか ・識字能力の向上がみられたか ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できたか ・作品の改善点を常に考えることができたか ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとしていたか ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱うことができたか ・入念に清掃活動を行うことができた	○	○	○	3

	【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとする ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う ・作品の権利について理解し、尊重できる					か ・作品の権利について理解し、尊重することができたか				
	期末考査										
3学期	L 単元 『創作活動』 【知識及び技能】 ・基本点画及び運筆法の学習と習得 ・書道史の学習と時代背景の理解 ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆を行う ・漢字能力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できる ・創作活動において自己表現を反映できる ・適切な運筆を行うことができる ・作品の改善点を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとする ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う ・作品の権利について理解し、尊重できる	・指導事項 「創作書道」 ・教材 「書 I」光村図書 ・一人１台端末の活用など インターネットを活用した情報検索	○	○	○	○	・基本点画と運筆法を学習し、習得することができたか ・書道史を学び、時代背景の理解をすることができたか ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆をすることができたか ・漢字能力の向上がみられたか ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できたか ・作品の改善点を常に考えることができたか ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとしていたか ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱うことができたか ・入念に清掃活動を行うことができたか ・作品の権利について理解し、尊重することができたか	○	○	○	3
	M 単元 『創作活動・大字』 【知識及び技能】 ・基本点画及び運筆法の学習と習得 ・書道史の学習と時代背景の理解 ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆を行う ・漢字能力の向上 【思考力、判断力、表現力等】・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できる・創作活動において自己表現を反映できる ・適切な運筆を行うことができる ・作品の改善点を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとする ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱う ・入念に清掃活動を行う ・作品の権利について理解し、尊重できる	・指導事項 「創作書道・大字」 ・教材 「書 I」光村図書 ・一人１台端末の活用など インターネットを活用した情報検索	○	○	○	○	・基本点画と運筆法を学習し、習得することができたか ・書道史を学び、時代背景の理解をすることができたか ・書体ごとの違いを理解し、適切な運筆をすることができたか ・漢字能力の向上がみられたか ・作品の特徴を理解し、自己作品に反映できたか ・作品の改善点を常に考えることができたか ・主体的に書道作品に触れ、特徴を理解しようとしていたか ・用具を管理、整頓し、丁寧に扱うことができたか ・入念に清掃活動を行うことができたか ・作品の権利について理解し、尊重することができたか	○	○	○	2

	学年末考査										